

ブレない！曲げない！あきらめない！

佐久市議会議員

# 大井岳夫後援会報

第11号  
高瀬地区版  
2014年7月  
発行責任者  
土屋征男

## 今年も座談会を開催します！

昨年引き続き、7月下旬～8月にかけて、高瀬地区各区において座談会を開催します。

日程等は回覧等でご確認いただきたいと思います。但し、日程等は回覧等でご確認いただきたいと思います。動や議会での質問に活かしてまいります。皆様のご参加をお待ちしています！

## 白山団地の整備方針について

(6月議会の質問より)

●平成27年から複数年でリフォームを行う

Q. 白山団地の整備計画と、その内容は？  
A. 白山団地の整備については全面的改善と位置づけ、平成27年度から複数年でのリフォームによる全面的改善を計画している。

Q. リフォームの内容は？

A. トイレの水洗化、浴室のユニット化、内壁の断熱性の向上や、現行の建築基準法に合った規格としていきたい。

Q. お住まいの皆様への対応は？

A. リフォーム工事においては一時的な転居も必要になるなど、入居者の皆さんにご負担をおかけすることになるが、説明会等を開催する中で、ご理解をいただきながら進めていきたい。

Q. 今後は他の団地も全てリフォーム形式で市営住宅を整備していくのか？

A. 佐久市公営住宅長寿命化計画では、平成31年度までの計画で、城が丘団地14戸、長土呂団地17戸、白山団地は戸数については決定していないが、これらについてリフォームを行うことが決定している。

またリフォームに合わせて、城が丘団地と長土呂団地は戸数を減らす。それ以外の公営住宅840戸については必要に応じて修繕を行う管理を行っていきたい。

その後の計画は、公営住宅の老朽化の状況や人口動態等、社会情勢の変化、市民ニーズや地域バランスも考慮する中で、佐久市公共施設マネジメント基本方針を踏まえ、長寿命化計画の見直しを含めた整備計画を策定していきたい。

●一方、県営住宅については見通しが立たず

Q. 県営住宅の整備方針はどうなるのか？

A. 県営住宅については、県全域を対象とした計画の中で整備をすると聞いている。このことから、白山団地に限らず、市営・県営が隣接する団地であっても、一体的に整備できる状況には無いものと考えている。

Q. このままでは市営住宅は新しくなっ

も、道を挟んで県営住宅は古いままとなってしまう。同じ団地であるにも関わらず、整備方針はこのままでいいのか？  
A. 適切な整備が図られるよう、県への情報提供には努めていきたい。

## ◆引き続き、次の2点に力を入れて活動してまいります！

- ① 子育て世代の皆さんに選ばれ、住んでもらえる団地となるよう、現在お住まいの方だけでなく、世帯構成に配慮した柔軟な間取りとなるよう、要望に努めます。
- ② 県営住宅においてもできるだけ早く整備計画が示されるよう、県議とも連携しながら県への要望に努めます。

## あしがき

消防団ポンプ操法大会を終えて

6月8日に開催されました消防団ポンプ操法大会に向けては、多くの応援、ご指導をいただきながら、4月の早朝より練習に励んできました。

お陰さまで技術や規律が向上し、無事に大会を終えることができましたが、順位は22位と悔しさも残る結果となりました。

しかしながら、高瀬地区の代表として貴重な経験をさせていただいた感謝を胸に、今後の活動に励んでいきたいと思えます。

今後も消防団活動へのご理解、ご協力をお願い申し上げます。